

資料No.1



新幹線誘客キャッチコピーのご提案

NEWPEACE thinktank

2022/02/04



新幹線誘客のキャッチコピーがどういったものであるべきか？

敦賀をどう見せていくのか？



**これを決めるにあたり、まず
考え方から整理していく必要があります**



歴史や資源が豊富なため、魅力を絞りきれない

(奥深い魅力はあるが、一点突破できる強いコンテンツがない)

市民自身が魅力を認識できていない

(誘客＝外から呼び込むだけでは、市民・市内の変化が起きない)

ヒアリング調査の際にも市民・市内の変化を期待する意見が見えられた

市民の思いが変わらなると、新幹線開業と言われても「来たらいいじゃないか」と冷めた目線で見ると、
敦賀市民の「誇り」に期待したい。(推進会議 会長 / 商工会議所 副会長 / 株式会社奥井海生堂 代表取締役社長 奥井様)

「交通の要所」「人道」といった敦賀の魅力は伝わり続けているが、どこか薄れてしまったり、途絶えてしまっている部分もあるかもしれない。
新幹線開業や今回のキャッチコピーを通じて、市民が敦賀らしさを感じられるように期待したい。
(推進会議 副会長 / 商工会議所 副会長 / 敦賀信用金庫 理事長 坊様)

外から人が来るのを待っているだけになってしまう危惧がある。自分たちが敦賀を好きになり、積極的にもてなして欲しい。
(推進会議 副会長 / 観光協会 会長 / NPO法人THAP 理事長 池田様)

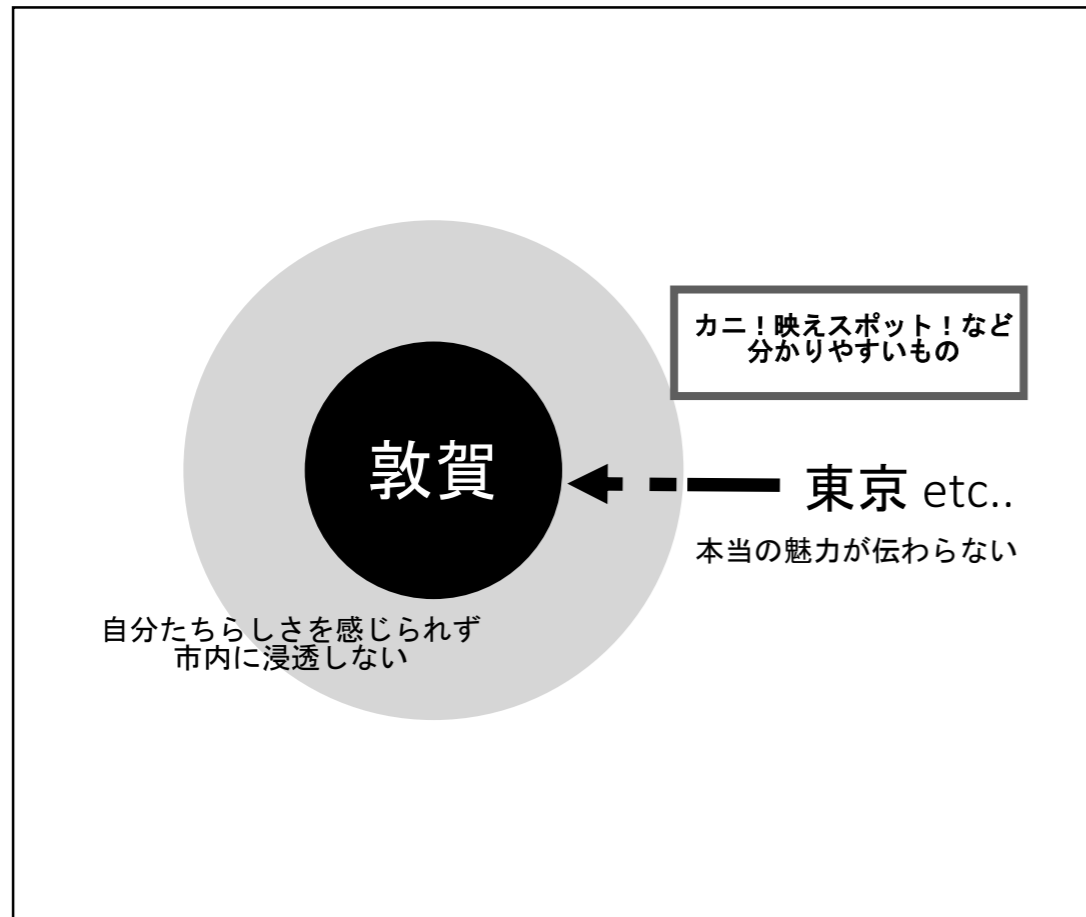


市内盛り上げと誘客を同時に行うことを目指し 敦賀の「等身大の魅力」を起点にする



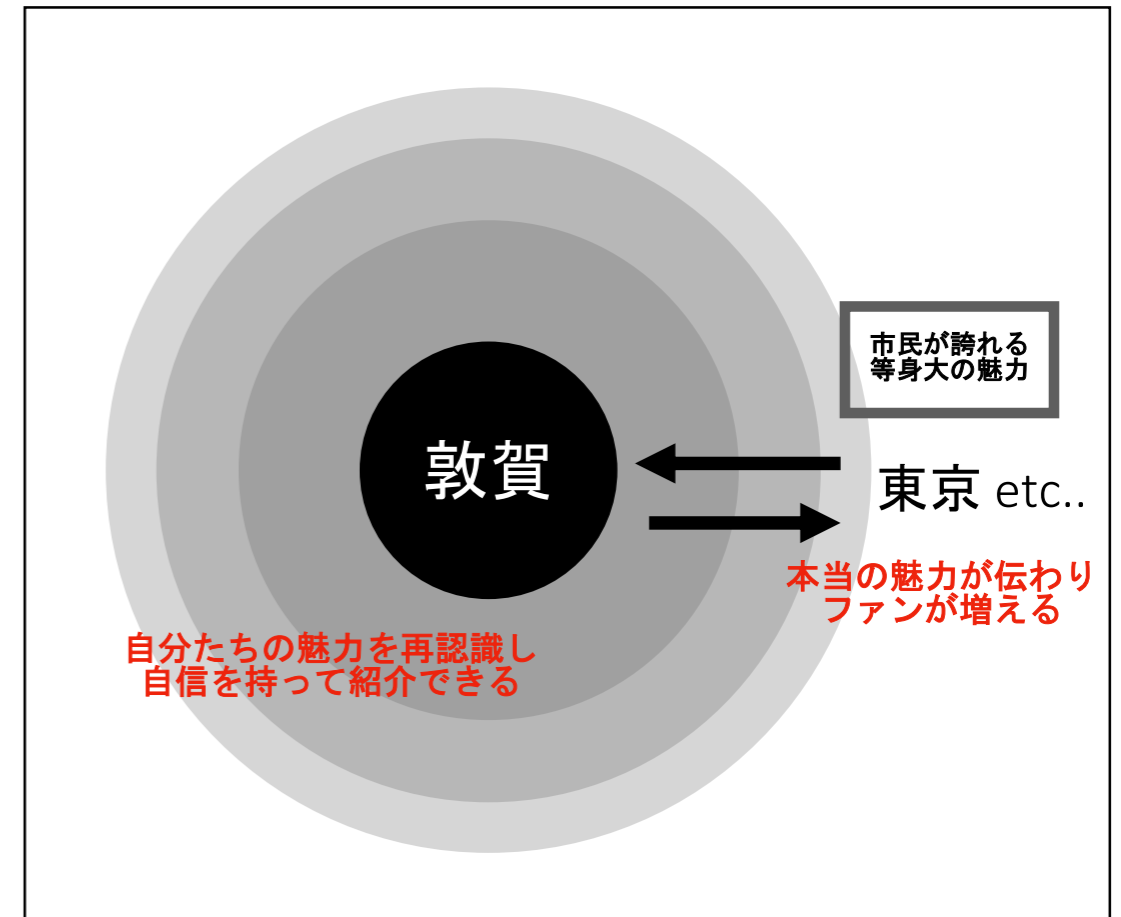


「外から見た魅力」 起点



ヒキはあっても市内に浸透せず
盛り上がりが限定的

「等身大の魅力」 起点



市民の意識が変わり
本当の敦賀の魅力が伝わる



敦賀市民、また縁を持つ方を43名を対象に 「等身大の敦賀の魅力」について調査を行いました

- 推進会議 会長 奥井様
- 推進会議 副会長 坊様
- 推進会議 副会長 刀根様
- 推進会議 副会長 池田様
- 推進会議 副会長 片山様
- 推進会議アドバイザー 佐々木俊尚様
- タウンマネージャー 阿部様
- 敦賀青年会議所 2021年度理事長 林様
- 敦賀商工会議所青年部 令和3年度会長 山形様
- NPO法人THAP 事務局長 碓様
- 地域おこし協力隊 西山様
- 福井県チャレンジ応援ディレクター 寺井様
- 敦賀をひろげるPJ広報隊リーダー 東様
- 敦賀高校 創生部の生徒（3名）

加えて、敦賀をひろげるプロジェクト（9月16日実施）にご参加いただいた27名の方にワークショップを通じて敦賀の魅力について発表していただきました



1. **人の魅力が、敦賀の魅力**
2. **様々な奥深い魅力がある**
3. **交通の要衝 / ゲートウェイ**



敦賀の「等身大の魅力」を伝える、
7案をご提案いたします

とりあえず、 つるが。

ひとまず、来てみてください。
豊かな自然や文化、新鮮な食も、
ここに来れば、なんでも揃ってる。
どんな人でもやさしく受け入れる
温かい人たちが待っている。

そして、敦賀は交通の要所。
道路も航路も鉄道も、ついに新幹線も。
いろんな場所へとつながってるゲートウェイ。

とりあえず来たら間違いないまち。
いらっしゃい、敦賀。

2024年春。北陸新幹線 金沢～敦賀間開業。

ちようどいいいな、つるが

都会でもない、かと言って田舎でもない。
すごい観光資源があるわけでもないけど
自然や文化はたくさんある。

新鮮な食も、なんでも揃ってる。
人はみんな優しい、居心地がいい。
地方だけど交通が発達してるから
どんな人も受け入れる風土もあるし
いろんな魅力的な人がいる。

尖ったところはないけれど
来たことある人は気付いてる。
ちようどいいいな、敦賀。

2024年春。北陸新幹線 金沢～敦賀間開業。

行くたび、 来るたび、 新しい敦賀。

敦賀には、すごい観光資源があるわけでもないけど
自然や文化はたくさんある。
新鮮な食も、なんでも揃ってる。
人もみんな優しくて、居心地がいい。

敦賀には、これまでとは違った旅の楽しみ方がある。
行くたびに、来るたびに、新しい発見がある。

2024年春。北陸新幹線 金沢～敦賀間開業。

やさしさに出逢うまち、つるが

人道の歴史文化が受け継がれ、誰にでも優しい市民。
そんな人たちとともに自然の中で過ごしていると、
きっと自分にもやさしくなれる。

忙しさから解放され、広い心を見つけられる。
そんなあなたに。

2024年春。
北陸新幹線 金沢～敦賀間開業。

つるが、発見！

2024年春。

これまで金沢が終点だった北陸新幹線が、ついに、福井県敦賀市まで開通します。

正直ここは有名な観光地ではありません。もしかしたら「つるが」という地名を聞いたことない人もいるでしょう。

しかし敦賀は、実はすごいんです。古くから鉄道と港の拠点として栄え、様々な文化が混ざり、根付いてきた日本の要所。

歩けば、至るところに歴史や名所がある。都市にはない豊かな自然、新鮮な食、人の優しさ。異文化を受け入れ、誰でも居心地が良いまち。

きっとあなたの知らない日本に出逢える。来るたびに、見てまわるほどに、新しい発見がある。さあ、あなたの好きな敦賀を見つけてください。

こんにちは、 つるが。

敦賀と書いて「つるが」と読みます。
日本全国いろんなエリアがある中で
これまで訪れたことの無い街に行くのはどうでしょう？

敦賀には、すごい観光資源があるわけでもないけど
自然や文化はたくさんあるし、
新鮮な食も、なんでも揃ってる。
人もみんな優しく、居心地がいい。

敦賀には、これまでとは違った旅の楽しみ方があります。
はじめまして、敦賀へようこそ。

2024年春。
北陸新幹線 金沢～敦賀間開業。

旅がひろがる終着駅、つるが

敦賀は、古くから鉄道と港の拠点として栄え、色んな場所へとつながっているゲートウェイ。

新幹線の終着駅ではあるけれど、ここは旅のはじまりです。敦賀には、すごい観光資源があるわけでもないけど自然や文化はたくさんあるし、新鮮な食も、なんでも揃ってる。

敦賀を楽しむもよし、敦賀からさらに足を伸ばすもよし。さあ、敦賀にいらっしやい。

2024年春。
北陸新幹線 金沢～敦賀間開業。



(以降、補足資料)

(参考) コピーライター紹介



高木 新平 NEWPEACE CEO/ Creative Director

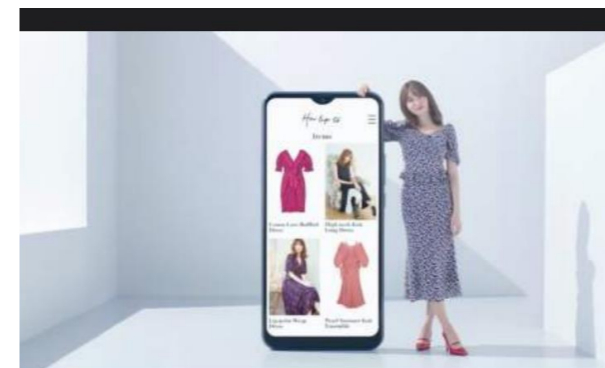
富山県成長戦略会議委員。新幹線敦賀開業まちづくり推進会議アドバイザー。博報堂退社後、NEWPEACEを創業。ブランディングの新たな方法論として「ビジョニング」を提唱。NIKEやメルカリ、ビル・ゲイツ財団などのPR戦略のブランド開発・PR戦略の策定のほか、自動運転・シェアリングエコノミー・SDGs・人生100年時代などの社会ビジョンを仕掛けてきた。



自動運転の法改正キャンペーン / DeNA



就活市場の格差是正 / ワンキャリア



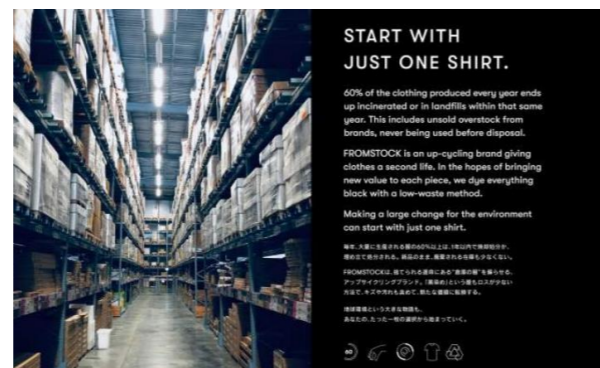
個人EC市場の浸透 / BASE



捨てるをなくす梱包の実装 / メルカリ



シェアリングエコノミー協会 / gaiax



廃棄在庫ブランド / アダストリア



SDGs日本浸透 / ビルゲイツ財団



カリスマ美容師 / OCEANTOKYO

(参考) 魅力1 「人の魅力が、敦賀の魅力」



- 「人の魅力」ということは、敦賀市民自身が感じている誇り。
(推進会議 会長 / 商工会議所 副会頭 / 株式会社奥井海生堂 代表取締役社長 奥井様)
- 敦賀の魅力は、地元の人と話すことで伝わる。おもてなし隊の活動に参加する高校生が大勢おり、ボランティア活動が盛ん。商店街や地域の方から声をかけてもらうことも多い。
(敦賀高校 創生部の女子生徒3名)
- にこっと笑顔で、気持ちよく「こんにちは」と挨拶ができることが、敦賀の魅力。日本全国を回ってきたが、敦賀だけ。
- ユダヤ難民にりんごを渡した子どもも、きっと笑顔で「こんにちは」と言ったと思う。
- 厚かましいおせっかいはなく、移住者にも観光客にもちょうどいい距離感で接せられる。
(港都つるが / タウンマネージャー 阿部様)
- 「気持ちよく帰ってもらう」ことができる街。ずっとなんとなく居心地がよく、最後まで心地よさを感じる。
(敦賀青年会議所 2021年度理事長 林様)
- 「居心地の良さ」は周りから言われる。どんなお店でも入りやすい。
- お店に入って、店員さんと話して欲しい。そうすると、敦賀の人の魅力が伝わる。
(敦賀商工会議所青年部 令和3年度会長 山形様)
- 美味しい食べ物や良い景色は日本全国どこにでもあるが、「敦賀に来てもらい、好きになってもらい、また来てもらう」のは「人の魅力」だと思っている。
(地域おこし協力隊 西山様)

(参考) 魅力2 「様々な奥深い魅力がある」



- 様々な奥深い魅力があるヒキの強い名物があるわけではないが、ちょっとした魅力が多い。
普段・日常の魅力を発信するのが良い。
(ジャーナリスト / 作家 / 推進会議アドバイザー 佐々木様)
- 加点で勝負できる街。伊勢神宮のような分かりやすい一点物で勝つのは難しい。
しかし、敦賀市のコンパクトなサイズは活かせる。
(敦賀青年会議所 2021年度理事長 林様)
- 住んでみたくなる街。観光地としての売りが強いわけではないが、住んだら好きになる街だと思う。
(NPO法人THAP 事務局長 碓様)
- 楽しみ方を自分で見つけられる街。
- 決められた観光コースがあるわけではないからこそ、自分なりのハマり方を探せることが楽しい。
(地域おこし協力隊 西山様)

(参考) 魅力3 「交通の要衝 / ゲートウェイ」



- (古くから港町として発展してきた歴史があり、江戸時代には北前船、明治時代にはヨーロッパへの港、その後も交通・経済の要衝であったという歴史的背景)
- (北陸新幹線沿線のみならず、京阪神・東海へのアクセスが良いという地理的要因)
- 敦賀の人たちにとって、交通の要所であることは誇り。
- 明治時代から、様々な日本中の才能が敦賀に集まり、敦賀を通過してヨーロッパに行った。人が交わる玄関口。
(推進会議 会長 / 商工会議所 副会長 / 株式会社奥井海生堂 代表取締役社長 奥井様)
- 敦賀だけで勝負するのは、施設も観光地も食べ物も、限界がある。そのため、「ゲートウェイ」として使ってもらい、1泊はしてもらおうが、それ以外は敦賀を拠点に、中京や関西、北陸も含めて、アクセスしてもらおうのが敦賀なりの戦い方になりえる。
(推進会議 会長 / 商工会議所 副会長 / 株式会社奥井海生堂 代表取締役社長 奥井様)
- 京阪神からのアクセスがいいことは大きなメリット。外国人旅行客が京都から金沢へ移動する際に泊まる場所になりえる。
(ジャーナリスト / 作家 / 推進会議アドバイザー 佐々木様)
- コンパクトシティであり、市内をめぐりやすい。
- 他の地域につながるハブのように感じる。京阪神・東海にも行きやすい。
(敦賀市シルバー人材センター / 敦賀をひろげるプロジェクト広報隊リーダー 東様)